

二〇二六年度 入学試験問題 国 語〔現代の国語、言語文化〕（古文・漢文は除く）

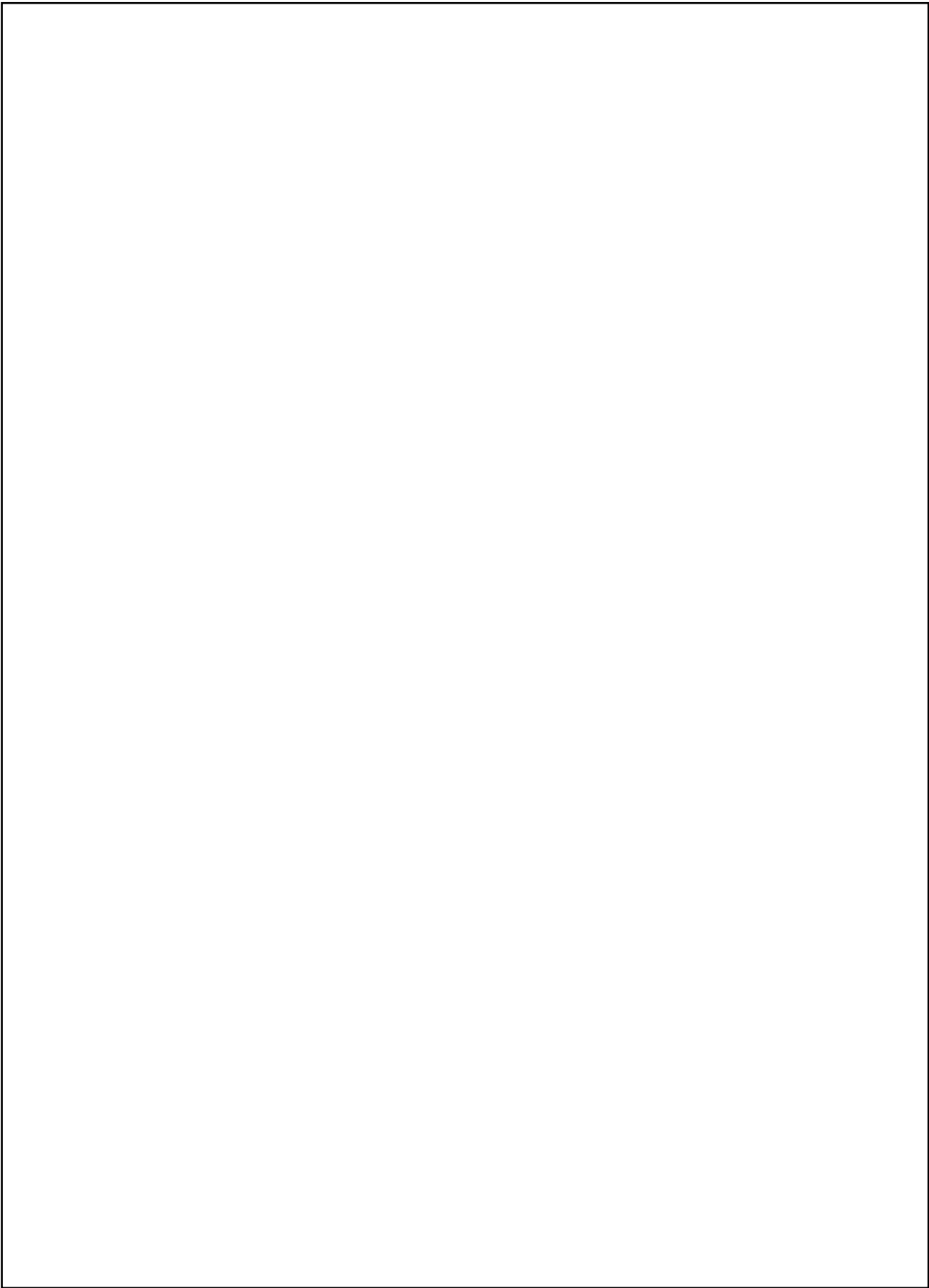
【後期日程】

注意事項

- 一、試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないこと。
- 二、この冊子は十五ページある。
- 三、解答用紙はマークシート式解答用紙一枚で、別に配付する。
- 四、本冊子に、脱落、印刷不明瞭がある場合は、本試験中に試験監督者に申し出ること。
- 五、この教科を事前に申込みしていない場合は、受験できない。
- 六、受験する教科は受験票に記載してある教科で、本日教科の変更はできない。
- 七、マークシート式解答用紙の記入上の注意
 - ① 解答する科目のマーク欄を正確にマークすること。
 - ② マークシート式解答用紙の解答番号は四十五問までであるが、問題の中にある設問数まで解答すること。
（問題の中にある の数字が解答番号に対応している）
 - ③ 解答には、黒鉛筆またはシャープペンシルを使用すること。
 - ④ 一度記入した解答を訂正する場合は、消しゴムで完全に消してから記入しなおすこと。
 - ⑤ 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、汚したりしないこと。
 - ⑥ 解答欄への記入は、マークシート記入例にしたがって、正確にマークすること。
- 八、右記の注意を守らない場合は、採点できないことがある。
- 九、試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

一 次の文章を読んで、後の問に答えよ。

著作権の都合上、掲載無し



(額賀滯『風は山から吹いている』二見書房)

問一 傍線部(1)から(5)の漢字と同じ漢字を用いるものを、次の各群の①から⑤の中から一つずつ選び、番号で答えよ。

- (1) コウテイ
- ① 社会科見学で製造のコウテイを見学した
- ② 友人の意見をコウテイする
- ③ テイソウを重ねる文化がある
- ④ 不当解雇でテイソされた
- ⑤ 相手の様子をテイサツする

(2) カンユウ

- ① 教授が読書をカンショウしてくれた
- ② カンダンの場で打ち解けた
- ③ 難題な計画をカンスイする決意を語る
- ④ カンショウ材を使って梱包する
- ⑤ リンリカンの違いが議論を生む

2

(3) ギョウシ

- ① ギョウセキが論文に反映された
- ② 利己的なショギョウが学内で問題視された
- ③ ギョウカクの計算が必要な課題
- ④ ギネンが残る実験結果となった
- ⑤ 窓に水滴がギョウケツする

3

(4) リョウセン

- ① 彼のリョウケンには狭すぎる
- ② リョウフウが教室に流れ込む
- ③ 想定をリョウガする発想力
- ④ リョウカクを削ぎ落としたデザイン
- ⑤ 専門リョウイキを深く掘り下げた

4

(5) コウヨウ

- ① 発言がヨウニンされなかった
- ② シャヨウに照らされる古い町並み
- ③ 彼の功績をショウヨウする
- ④ この制度のコウヨウは社会に貢献することだ
- ⑤ 提出書類はヨウコウに従って記入すること

5

問二 空欄 ア から コ にあてはまる言葉として最も適切なものを、次の各群の中から一つずつ選び、番号で答えよ。

ア	① まぶた	② 両腕	③ 唇	④ 靴紐	⑤ 髪
イ	① 声	② 意志	③ 視線	④ 返答	⑤ 動き
ウ	① 背面	② 視界	③ 脳裏	④ 心臓	⑤ 胸元
エ	① 守る	② 褒める	③ 嘲笑う	④ 讃える	⑤ 慰める
オ	① 無口	② 無責任	③ 無関心	④ 無邪気	⑤ 無表情
カ	① 拙い	② 堅い	③ 鋭い	④ 強い	⑤ 甘い
キ	① 見識	② しがらみ	③ 喜び	④ 義務	⑤ ぬくもり
ク	① 眉	② 目	③ 肩	④ 腕	⑤ 足
ケ	① 背	② 首	③ 顔	④ 踵	⑤ 腰
コ	① 疑問	② 興奮	③ 感謝	④ 愛情	⑤ 緊張

問三 波線部 A 著作権の都合上、掲載無し

と感じた背景として最も適切なものを、次の中から一つ選び、番号で答えよ。

と語る場面で、岳が「事情があるのではないか」

16

- ① 祖父の証言や登山記録を突き合わせていく中で、慰霊登山そのものに隠された目的があるのではないかと直感的に考えた。
- ② 穂高が新幹線やフェリーで遠征している事実を知り、飛行機を口実とした発言に一貫性を欠くと考えた。
- ③ 穂高が慰霊登山をするときに、いつも下山時間が早かった。
- ④ 登山を通じて友情を深めたいという気持ちを理解しつつも、心のどこかで不自然さを否定しきれなかった。
- ⑤ 穂高の真意を知ること、自分が慰霊登山の「代役」として選ばれたのではという不安を抱き始めた。

問四 波線部B 著作権の都合上、掲載無し

と問いかけた場面での岳の心情として最も適切なものを、

次の中から一つ選び、番号で答えよ。

17

- ① 穂高の沈黙を恐れず、自らの疑念をぶつけることで、真実に迫ろうとする勇気を奮い立たせている。
- ② 穂高の思いを代弁することで、自分が信頼に足る相手であることを示し、信頼を深めたいと願っている。
- ③ 穂高を問い詰めることで、自らの推理の正しさを証明し、彼の弱さを突こうとする優越感がある。
- ④ 穂高を責める意図はなく、むしろ彼の抱える痛みに寄り添いたいという切実な共感が現れている。
- ⑤ 尊敬していた穂高の登山記録に矛盾を見出し、事実を直視することで二人の関係が壊れるかもしれないという葛藤が入り混じっている。

問五 波線部C 著作権の都合上、掲載無し

18

- と語る場面で見せた笑顔の意味として最も適切なものを、次の中から一つ選び、番号で答えよ。
- ① 過去の登山の失敗を明るく語り、自分を軽く見せたかった。
 - ② 登山の厳しさや苦い経験を笑い話として共有したかった。
 - ③ 登れなかった自分への悔しさを受け止め、開き直ってさばさばした気持ちになった。
 - ④ 失敗を隠したい気持ちがあり、気まずさをごまかしたかった。
 - ⑤ 相手に気を遣わせないよう、あえて明るく振る舞いたかった。

問六 波線部D 著作権の都合上、掲載無し

19

- と問いかける穂高の心情として最も適切なものを、次の中から一つ選び、番号で答えよ。
- ① 自分の勝手な誘い方に対して、非難されることを恐れた。
 - ② 岳に対して申し訳なさがあり、内心では面倒臭さを抱えていた。
 - ③ 自分の思いを受け入れてもらえたことに安堵した。
 - ④ 全てを伝えた今、岳がどう反応するかを試す気持ちがあった。
 - ⑤ 予想外に冷静な岳の反応に戸惑い、本心を見透かされたように感じた。

問七

波線部E

著作権の都合上、掲載無し

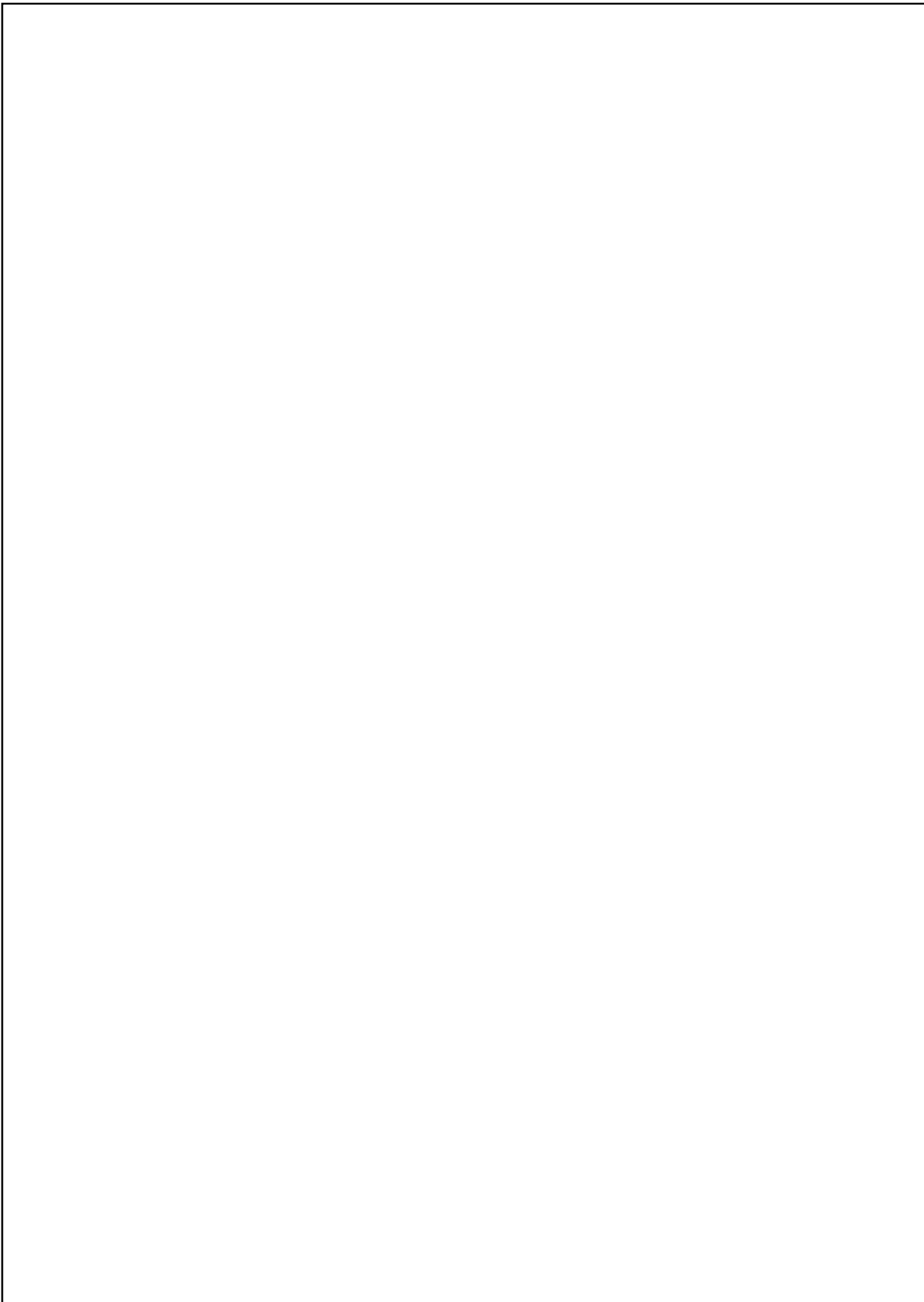
と言ったときの心情として最も適切なものを、次の中から一つ選び、番号で答えよ。

20

- ① 自分の背景を理解してもらえたことに安堵し、何はともあれ次の一步を踏み出したかった。
- ② 登山の目標を明確に定め、次の計画に向けて意志を新たにしたい。
- ③ 別れの気配に寂しさを感じ、未来の約束を口にして不安を紛らわせた。
- ④ 登山を通して互いの距離をさらに縮めたいという期待があった。
- ⑤ 困難を乗り越える象徴として、聖岳への再挑戦を提案したかった。

二 次の文章を読んで、後の問に答えよ。

著作権の都合上、掲載無し



(養老孟司『いちばん大事なこと』集英社新書)

問一 傍線(1)から(5)の漢字と同じ漢字を含む語を、次の各群の①から⑤の中から一つずつ選び、番号で答えよ。

(1) テンケイ

- ① テンブの才を信じて進む。
- ② テンガな舞に観衆が酔う。
- ③ テンジョウ員を乗せる。
- ④ テンキョとして暮らしを変える。
- ⑤ テンボの人員が不足する。

21

(2) セイケイ

- ① セイゴして過ちを悔いる。
- ② セイショウで校歌を響かす。
- ③ セイキョした師を偲ぶ集い。
- ④ セイチクを丹念に飼育する。
- ⑤ セイゼンと机を並べ直す。

22

(3) カソウ

- ① ソウコウして計画が成る。
- ② ソウソウの列が街を過ぎる。
- ③ ソウサクで山へ向かう。
- ④ ソウシヨクヒンで部屋を彩る。
- ⑤ ソウダツセンが白熱している。

23

(4) エイキョウ

- ① キョウリヨクして作業を終える。
- ② ハツキョウするほどの怒りを感じる。
- ③ キョウコクを抜け溪流へ至る。
- ④ キョウセイ施設で技術を習得する。
- ⑤ オンキョウ効果が素晴らしい。

24

(5) センサイ

- ① センスイ夫が海底を調査する。
- ② セントが歴史を動かした。
- ③ センサクして事情を探り出す。
- ④ センミツな計画が成功した。
- ⑤ センプウが広場を駆け抜けた。

25

問二 空欄 ア から カ にあてはまる語句として最も適切なものを、次の各群の①から⑤の中から一つずつ選び、番号で答えよ。

ア ① 自然 ② 人工 ③ 都市 ④ 文化 ⑤ 無機物
イ ① 意識の思うように ② 他者の思うように ③ 無意識に

ア 26
イ 27

ウ ① 自我 ② 社会 ③ 環境 ④ 経済 ⑤ 個人
④ 自然のままに ⑤ 環境に適応するように

ウ 28
エ 29

オ ① 環境化 ② 都市化 ③ 自然化 ④ 不明化 ⑤ 鈍化
② だが ③ つまり ④ とはいえ ⑤ また

オ 30
カ 31

カ ① 一八〇度 ② 九〇度 ③ 四五度 ④ ゼロ度 ⑤ 一二〇度

カ 31

問三 本文の記述と合致するものを一つ選び、番号で答えよ。

32

- ① 都市には人間が関与していない自然物が多く残っている
- ② 身体は意識の思うように完全に制御できる
- ③ 体内の物質は時間とともに入れ替わる
- ④ 環境問題は人間と自然の対立構図でしか捉えられない
- ⑤ 腸内細菌は人間の意識によって生成される

問四 波線部 A 著作権の都合上、掲載無し という表現の意味として最も適切なものを一つ選び、番号で答えよ。

33

- ① 自然の変化を予測できること
- ② 身体を思い通りに操作できること
- ③ 他人の意志を操ること
- ④ 都市の環境を支配すること
- ⑤ 自然と人工を行き来すること

問五 本文中には「く対く」という形で示される対比がいくつかある。次の空欄 A・B・C・D に当てはまる語句の組み合わせとして最も適切なものを一つ選び、番号で答えよ。

34

筆者は、従来の「A 対 B」という構図を直線的な対立とし、それとは直角にずれた「C 対 D」という関係を提示している。

- | | | | | |
|---|--------|--------|--------|--------|
| ① | A Ⅱ 人間 | B Ⅱ 環境 | C Ⅱ 意識 | D Ⅱ 身体 |
| ② | A Ⅱ 都市 | B Ⅱ 自然 | C Ⅱ 意識 | D Ⅱ 環境 |
| ③ | A Ⅱ 人間 | B Ⅱ 人工 | C Ⅱ 都市 | D Ⅱ 身体 |
| ④ | A Ⅱ 自然 | B Ⅱ 人工 | C Ⅱ 身体 | D Ⅱ 環境 |
| ⑤ | A Ⅱ 都市 | B Ⅱ 身体 | C Ⅱ 自然 | D Ⅱ 人工 |

問六 野口健氏のエベレスト清掃活動の紹介は、本文中でどのような役割を果たしているか。最も適切なものを一つ選び、番号で答えよ。

35

- ① 登山を禁止すべきだという筆者の意見を補強する
- ② 自然保護活動の困難さを示す
- ③ 関わった自然の維持に責任を持つ姿勢の例を示す
- ④ エベレスト環境破壊の深刻さを告発する
- ⑤ 都市生活と山岳生活の経済的比較を行う

問七 都市化が進むと、人々が自然環境を 著作権の都合上、掲載無し 理由として最も適切なものを一つ選び、番号で答えよ。

36

- ① 人工物の方が自然より価値が高いと考えるから
- ② 都市の人工環境だけで生活が成り立つから
- ③ 自然保護は経済活動を妨げるから
- ④ 自然環境の変化が都市に影響しないから
- ⑤ 自然の中で暮らすことが不可能になるから

問八 本文中の 著作権の都合上、掲載無し という比喩が表す内容として最も適切なものを一つ選び、番号で答えよ。

37

- ① 身体の大部分が水分でできていること
- ② 身体の形が流れるように変化する事
- ③ 身体の物質が常に入れ替わっていること
- ④ 身体が自然の一部であること
- ⑤ 身体の中を水が流れていること

問九 本文全体を踏まえたとき、筆者の環境観を最もよく表すものを一つ選び、番号で答えよ。

- ① 人間は自然から離れて人工世界で生きるべきである
- ② 自然環境の保護は外界の自然だけを対象にすべきである
- ③ 人間も自然の一部であり、意識と身体の関係を見直すことが必要である
- ④ 都市化の進展は環境問題解決の前提条件である
- ⑤ 人間と自然は本質的に対立するものである